



こうじょう ない はい かん せい さく せつ ち  
**工場内の配管を製作、設置して**  
 あん ぜん こう りつ せい ざん ささ  
**安全で効率のよい生産を支えています。**



もっと、くわしく  
 みてみよう!

たい よう さん ぎょう かぶ しき がい しゃ  
**大洋産業株式会社**

しょくば けんがく か のう  
**職場見学可能です**

本社 / 彦根市芦川町528 TEL.0749-22-6213 <https://www.taiyosangyo.co.jp/>  
 創業 / 1951年(昭和26年) 従業員数 / 32名(2024年6月現在)

わたし し ごと  
**私たちの仕事**

こうじょう せい ざん あん ぜん ささ  
 工場の生産と安全を支える「プラント  
 はい かん き かい ぶ ひん つく せつ び  
 配管」、機械の部品を作ったり設備を  
 く た たたりする「組立」、そして飲料  
 よう こうじょうよう みず ち  
 用や工場用に水をきれいにする装置



▲本社工場



▲甲良工場

つ く みず かんきょう わたし おこな おも し ごと せい  
 を作る「水環境」。この3つが、私たちが行っている主なお仕事です。一度にたくさんの製  
 ひん つく りようさん おこな きゃく ちゅうもん う ひと せんもん ぎじゅつ い  
 品を作る量産は行わず、お客さまから注文を受けて、一つひとつ専門技術を生かしなが  
 ら業務に取り組んでいます。ここでは「プラント配管」についてご紹介します。

? 「プラント配管」はどんなところに使われているの?

か がく こうじょう しょくひん こうじょう げん ざいりよう  
 化学工場や食品工場などで、原材料や  
 みず き かい うご くる き はこ  
 水、機械を動かすための空気などを運ぶ  
 はい かん やくわり はい かん ひと からだ  
 のが、配管の役割。配管は、人の体にたと  
 えると血管のようなもので、工場を安全  
 けつ かん こうじょう あん ぜん  
 に効率よく動かすのにとっても重要です。



▲工場にある設備の例



こうじょう ぼしよ  
 工場のいろいろな場所で  
 たくさんの管が  
 つながっているんだね!

! 「プラント配管」ができるまでの流れを見てみよう!



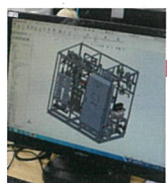
1 依頼

お客さまから依頼や相談を受け、現場で確認します。



2 設計

工場の規模により、自社で図面を描いたりお客さまから図面をもらったりします。



3 現地で確認

図面をもとに、配管を通すルートやサイズに間違いがないかなどを確認します。



! こんな人たちが働いているよ!

せいぞう ぎじゅつえいぎょう ぶしよ はたら  
 製造と技術営業、2つの部署でスペシャリストが働いています。



せいぞう せいぞう  
 製造スタッフ

はい かん せい さく こう じ  
**配管製作・工事**

きんぞく かこう ぶひん つく はい かん せい さく せい かん か  
 金属パイプなどを加工して部品を作る「配管製作」や「製缶加工」、作られた部品をチームで組み立てる「配管工事」、配管の分解清掃などをする「メンテナンス作業」があります。

せつ び せい ぞう  
**設備製造**

きんぞく かこう ぶひん つく ぶひん せい さく  
 金属を加工して部品を作る「部品製作」、チームでいろいろな部品を組み立てる「設備組立」、お客さまの工場で古い部品の交換などをする「メンテナンス作業」などがあります。

ぎ ぎ  
 技術営業スタッフ

はい かん せい さく こう じ せつ び せい ぞう  
 配管製作・工事、設備製造の分野の技術職で、営業のお仕事もしています。お客さまとの打ち合わせや価格見積り作業、仕様に応じた設計作業、現場管理・監督などを担当します。



ここに注目!!



いろいろな人の「つくる」活動を応援しています

ものづくりに携わったり目指したりする、いろいろな人が利用できるスペース「dew spot」を運営しています。ものづくり企業である大洋産業の知識や技術、設備や機材を活用できることは、大きな魅力です。



はたら 働く人の声

ぎじゅつえいぎょう ぎじゅつほん ぶえいぎょう ぎじゅつ かつ だ  
 技術営業・技術本部営業技術課  
 よし だ かつ とし  
 吉田 勝利さん

ぎじゅつえいぎょう きゃく しょく にん あいだ はい あん ぜん し  
 技術営業としてお客さまと職人さんとの間に入り、安全にスムーズにお仕事がかどるよう、周囲に気を配りながら現場の監督などをしています。大切にしているのは、しっかりとコミュニケーションを取ること。勘違いや間違いが起こらないようきちんと確認し、事故なく安全にお仕事が終わることに充実感とやりがいを感じます。

